

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成27年12月9日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第49週 2015年 11月 30日 ~

2015年 12月 6日

設置定点数 48 ケ所

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ			1		1	2	1		1	6							1				1	2	1	1						

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

## 小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~		
RSウイルス感染症	4	4	2		9		10	14	62	105	9	17	22	25	14	12	5	1								
咽頭結膜熱	2	2	2			3	2	4		15		1	6	3		1		1		1		2				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	6	4		5	2	6	10	24	68			3	3	1	11	4	12	12	4	7	10		1		
感染性胃腸炎	42	7	23	13	40	15	64	112	47	363	3	25	72	58	32	28	28	11	19	13	8	13	10		43	
水痘	7	2			4		2	2	2	19				1	3	4	6	1	1		1	2				
手足口病		2	2					4	1	9			2	1	3	1	1								1	
伝染性紅斑	2				8			1	9	20		1				4	3	5	2	3	2					
突発性発疹	1	1	1		1		2	4	3	13		4	6	2	1											
百日咳																										
ヘルパンギーナ							2			2						1	1									
流行性耳下腺炎					7		2	2		11				1	1	2	3	3		1						

今冬になって初めてインフルエンザによる学級閉鎖が報告されました。インフルエンザの定点あたりの患者報告数は第49週で0.13人と注意報レベルの基準値（10人）には達していませんが、気温が低下して空気が乾燥するとウイルスがヒトからヒトへと伝搬し易くなるので、これから患者数が増えることが予想されます。市内ではインフルエンザ以外にも、RSウイルス感染症・感染性胃腸炎が増加しています。これらは冬に患者数が増える感染症として知られています。手洗いや咳エチケット（マスク着用等）に努めましょう。インフルエンザの予防接種は効果が出るまでに2週間程度かかるので12月中旬（流行の2週間ほど）までの接種をお勧めします。

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

## 眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎				1					1	2															2				

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区○マイコプラズマ感染症2例：5~9歳男、10代男(6101)  
 東灘区○マイコプラズマ感染症1例：10代女(6102)  
 北区○アデノウイルス感染症2例：0~4歳女(6505)  
 垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例：性別・年齢不詳(6804)  
 垂水区○病原性大腸菌感染症1例：性別・年齢不詳(6804)  
 西区○マイコプラズマ感染症3例：年齢・性別不詳(6903)  
 西区○アデノウイルス感染症1例：年齢・性別不詳(6903)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は12人(うち潜在性結核感染症4人)です。

【市内の感染症の状況】

**RSウイルス感染症の患者報告数が急増しています。感染予防はマスク着用とせっけん流水による手洗いです。寒くなり手洗いの時間が短くなりがちですが、流水で15秒以上洗い流さないと効果がありません。冬は意識して手洗いしましょう！**

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向 \[検索\]](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2015年12月9日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	5-9歳	2015年11月30日	2015年11月30日	2015年12月3日	O157 (VT1VT2)	便培養法	腹痛、血便	不詳	
男	30代	/	2015年12月7日	2015年12月9日	O157 (VT1VT2)	便培養法	/	不詳	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	40代	2015年11月初旬	2015年11月2日	2015年12月1日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出 (大腸粘膜組織)	下痢、粘血便、しぶり腹、腹痛	異性間性的接触	
男	40代	2015年11月初旬	2015年11月27日	2015年12月7日	腸管アメーバ症	血清抗体の検出	下痢、粘血便、しぶり腹、腹痛	異性間性的接触	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 ウイルス性肝炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2015年11月初旬	2015年11月28日	2015年12月3日	B型	血清IgMHBc抗体検出	全身倦怠感	同性間性的接触	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	90代	2015年11月28日	2015年11月28日	2015年11月30日	/	CVチューブ先端からの菌検出・薬剤耐性確認	敗血症	医療器具関連感染	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	/	2015年11月11日	2015年12月9日	無症候性キャリア	PA法 Western Blot法	/	異性間性的接触	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	60代	2015年11月頃	2015年11月30日	2015年12月2日	/	血液培養法	発熱、咳、菌血症	飛沫感染	
男	70代	2015年12月4日	2015年12月4日	2015年12月8日	/	血液培養法	発熱、菌血症	不詳	

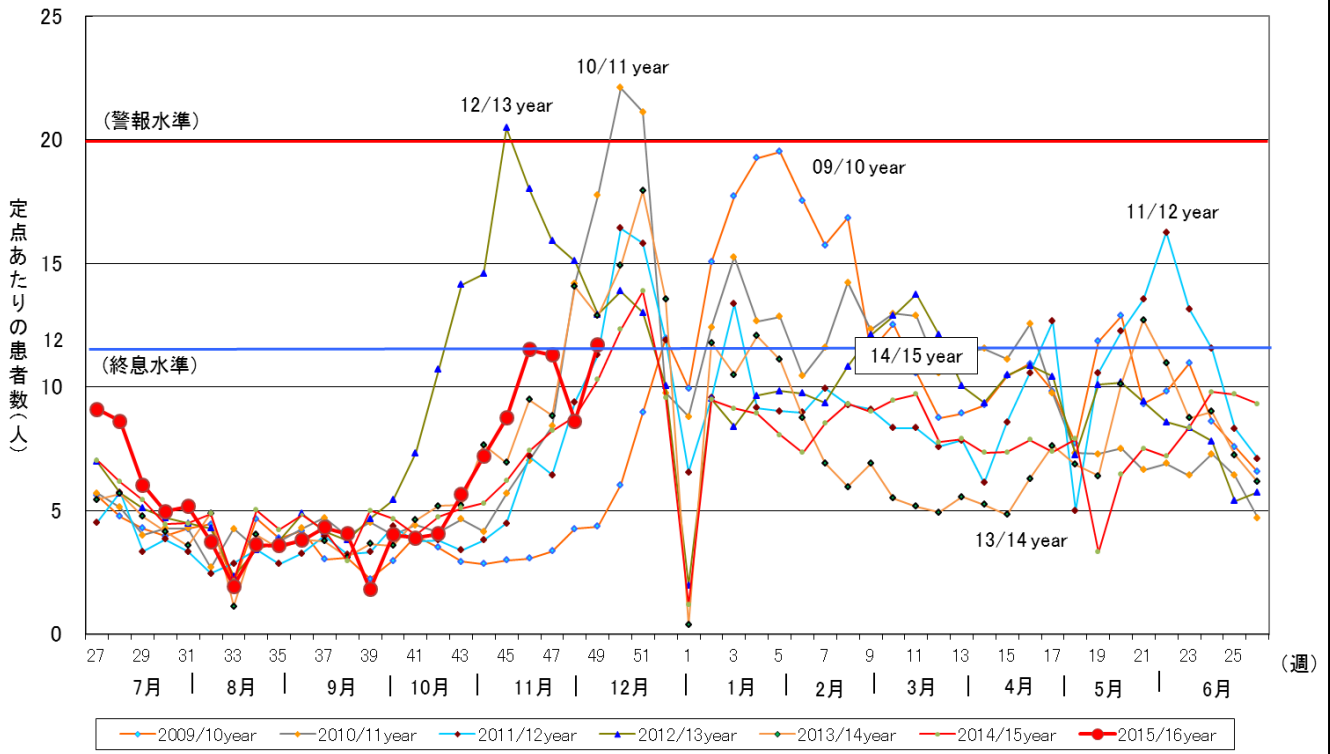
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	/	2015年11月28日	2015年11月28日	無症候性キャリア	自動化法 TPHA法	/	同性間性的接触	
男	40代	2015年11月頃	2015年12月2日	2015年12月2日	早期顕症梅毒 I期	自動化法 TPHA法	硬性下疳	異性間性的接触	

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
ヒトメタニューモウイルス	咽頭拭い液	須磨	8か月男児(11/24採取、38.8°C、エンテロウイルスD68疑い、気管支炎)、エンテロウイルス遺伝子検査陰性

### 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



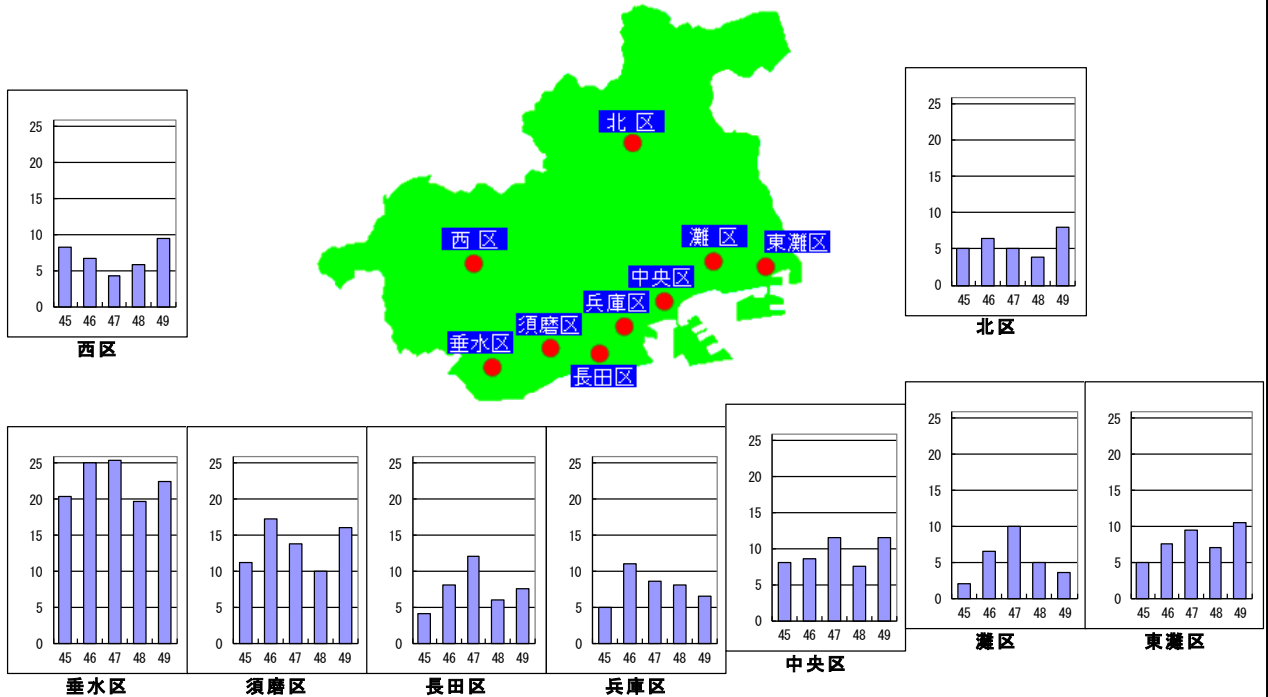
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 45 週 平成27年11月2日

～

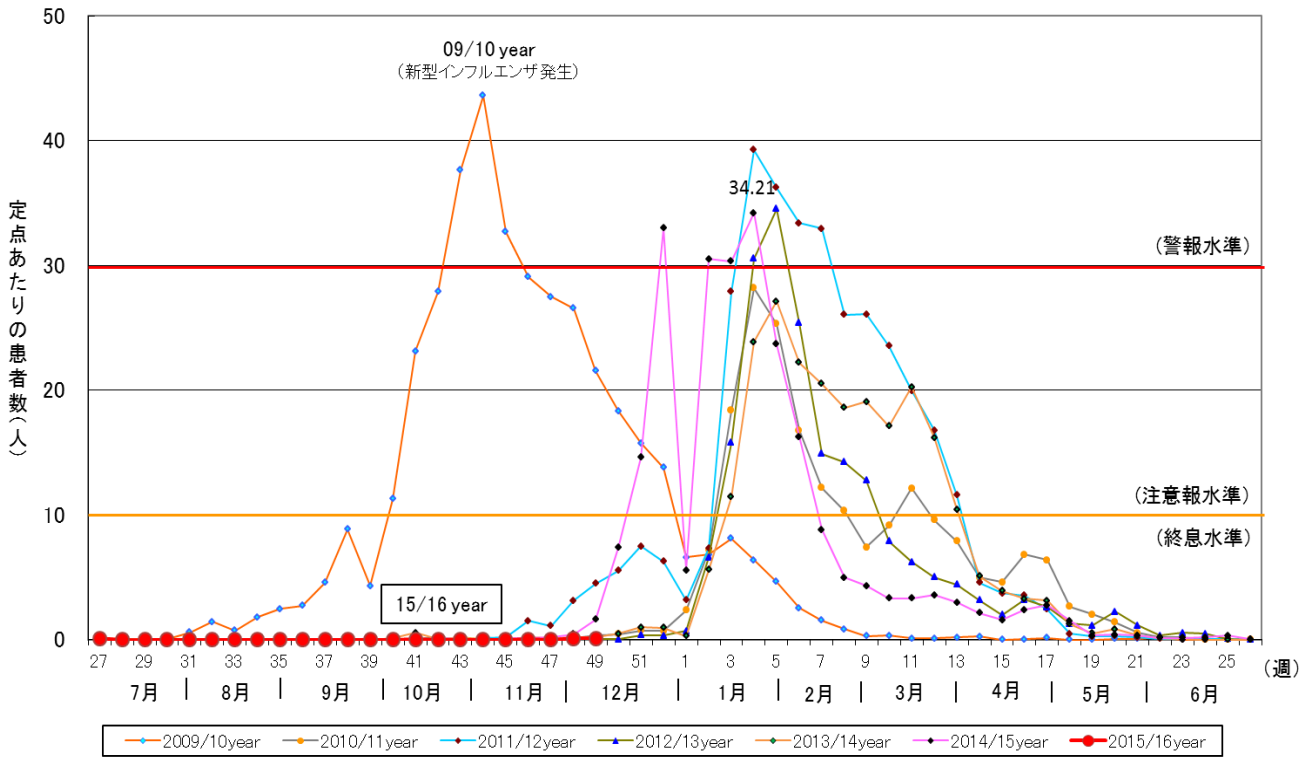
第 49 週 平成27年12月6日

#### 感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

### 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



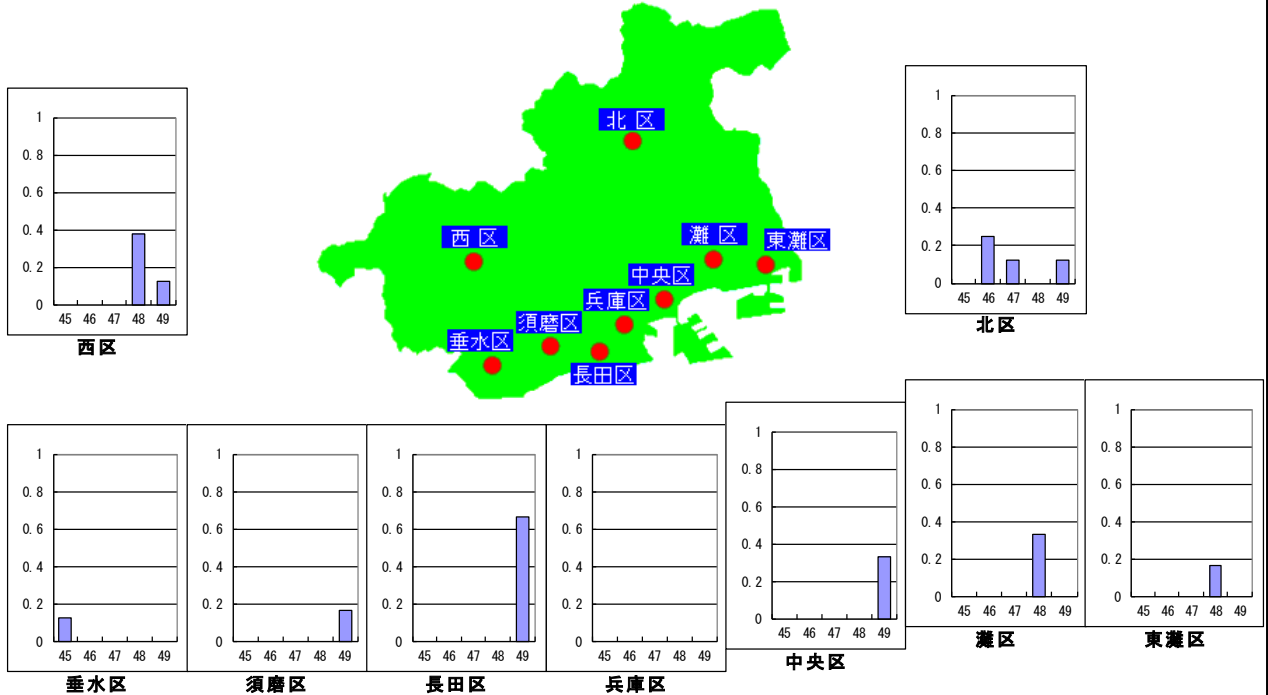
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 45 週 平成27年11月2日

~

第 49 週 平成27年12月6日

#### インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。